

# スエニチ

シネスコ版

高知新聞 10.304 本編同V.  
新潟新聞 10.130  
新潟新聞 10.141

No. 469 38.1.10

## 一、吹雪と闘う七日間

(羽田)

—女性の冬山記録

北アルプス

今年の正月は寒波が日本を襲い、各地に風雪の被害が続出しました。中でも正月休みで賑わった山では連日吹雪が続き、多くの登山者の命を奪われたのです。

七十年ぶりの降雪で住民を驚かした北アルプスでは女性ばかりのパーティが登山。西穂高岳への踏頂を見事に果して帰ってきました。これは名古屋からやってきた白根登高会という女子山岳会のグループ五人。

大晦日に三十キロの重荷を背負って峻険に登り、頂上から四キロ下北ベースキャンプをはりました。

しかし元日からは猛烈な吹雪と零下三十度の寒さがテントを襲いました。

しかし四日間テントの中でねばりつづけ快晴の一月五日西穂高岳(二九〇一米)を登頂して全員無事に下山したのです

神風登山が批判を集めている折柄、沈着冷静なこのパーティの山行ぶりはたたえられてよいでしょう。

—ファイモ風土記

## 一、天竜の奇祭

(山田・木下)

—長野

長野県の最南端、天竜川の上流奥深く、山腹にしがみつくように点在するここ坂部部落は、なお昔ながらの特異な冬祭を今に残しています。外界からとざされたこの部落で祭りは年一回、唯一のレジャーなのです。

激しい時代の波におし流されることなく昔ながらの特異な祭事が村人の生活の中で息づき、守られてきたのも、ここが厳しくとざされた風土であるからこそでしょう。

30/4 30/34